

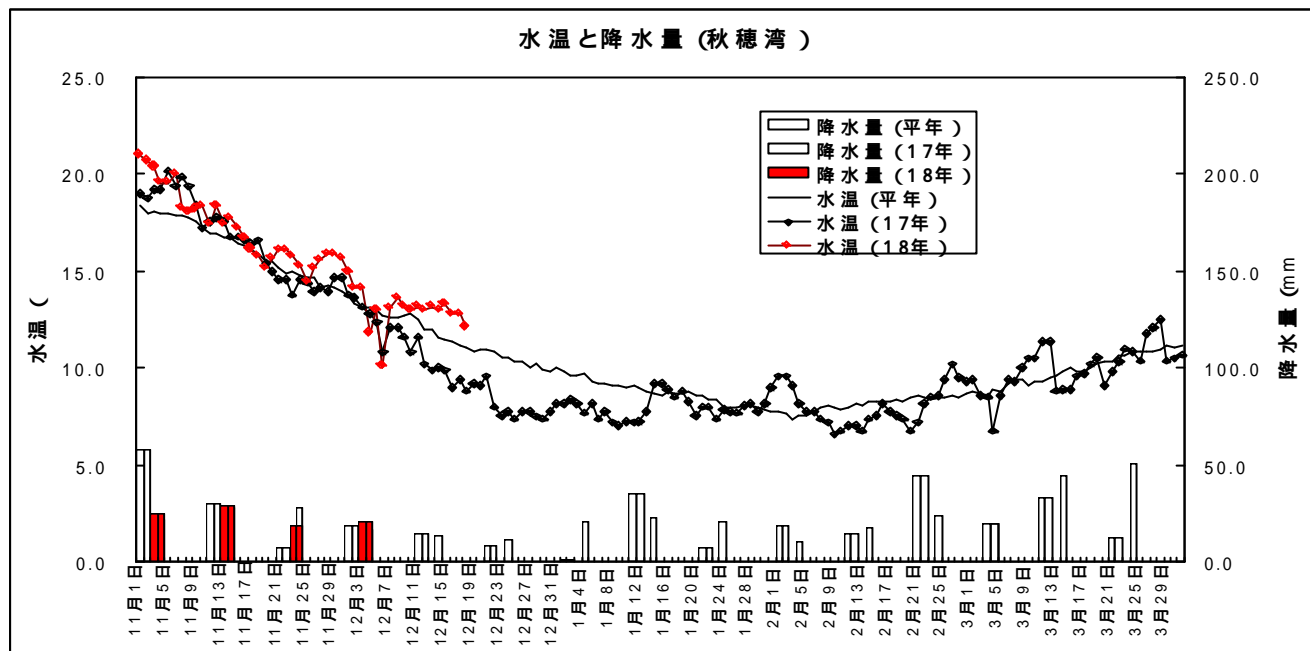
ノリ情報(号)

山口県水産研究センター
内海研究部
平成18年12月2日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は平年よりやや高い状態で推移しています。12月2日の秋穂湾の水温は11.5 となっています。各漁場の12月18日から19日の水温は下関地区9、宇部地区で11.5~12.3、防府地区14 となっています。12月中旬は少ないながらも降水が連続し、降水量は18mm(平年比:134%)となっています。



(2) 栄養塩

地区	DN	PO ₄ -P
下関地区	平均 175 μ g/l(低 169~ 高 181 μ g/l) 平年比 109%、前年比 157%	平均 13 μ g/l(低 12~ 高 14 μ g/l) 平年比 105%、前年比 127%
宇部地区	平均 92 μ g/l(低 54~ 高 165 μ g/l) 平年比 77%、前年比 140%	平均 15 μ g/l(低 12~ 高 21 μ g/l) 平年比 130%、前年比 155%
防府地区	平均 102 μ g/l(低 89~ 高 114 μ g/l) 平年比 179%、前年比 235%	平均 14 μ g/l(低 14~ 高 15 μ g/l) 平年比 140%、前年比 144%

2 養殖状況

12月上旬に比べ状況は上向きつつありますが、依然、全体的に葉体の生長遅延、葉体流失により生産量は伸びず低迷状態です。しかし栄養塩が増加したため、各漁場とも製品の色調は概ね良好となっています。下関地区では冷凍網の張り込みが行われています。摘採状況は宇部岬地区では概ね4回目。新宇部地区で3回目。藤曲浦地区で2回目です。アカグサレ等の病害の大規模感染は確認されていません。プランクトンは小野田~宇部沖でドク発生の原因ともなる大型珪藻の細胞数が増加傾向にあります。

3 他地区の状況

有明海地区: 15日から冷凍網張り込み開始。23日頃から摘採が見込まれる。

瀬戸内地区: 瀬戸内海漁場全域で生長不良状態。葉体流失や食害も発生。

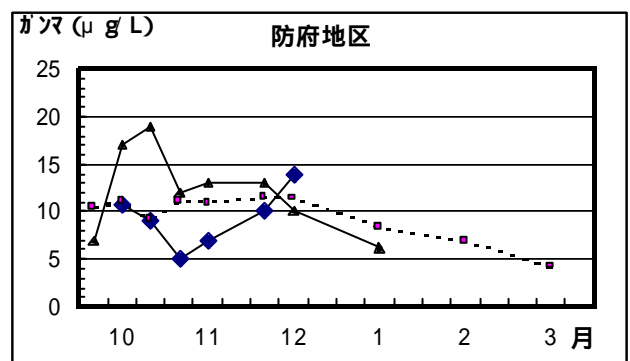
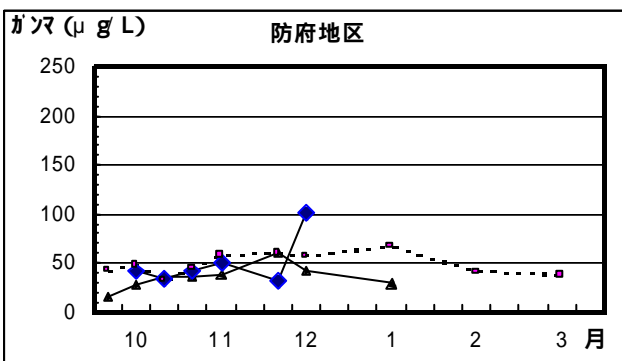
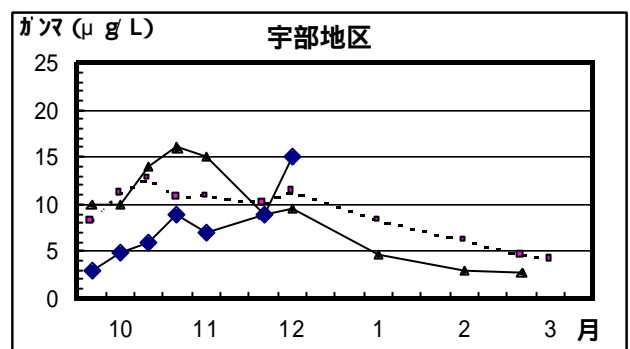
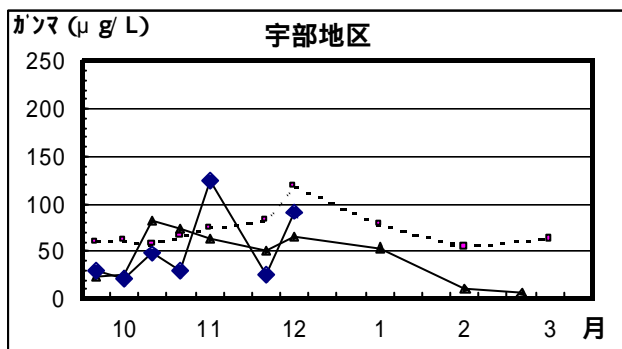
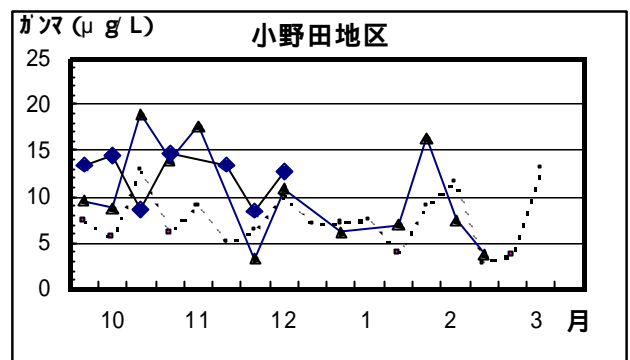
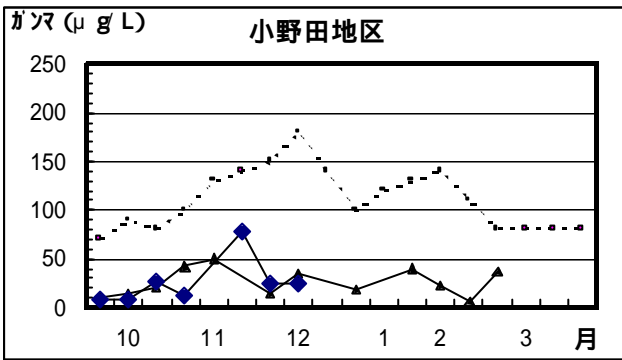
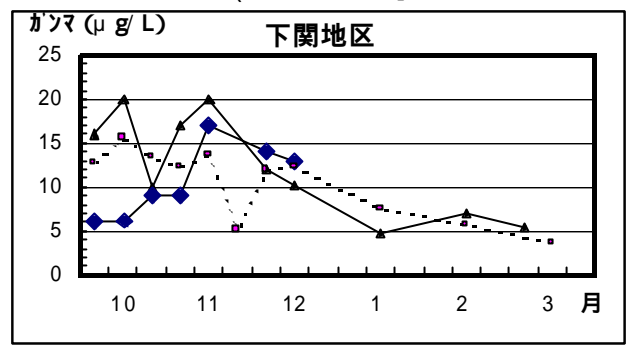
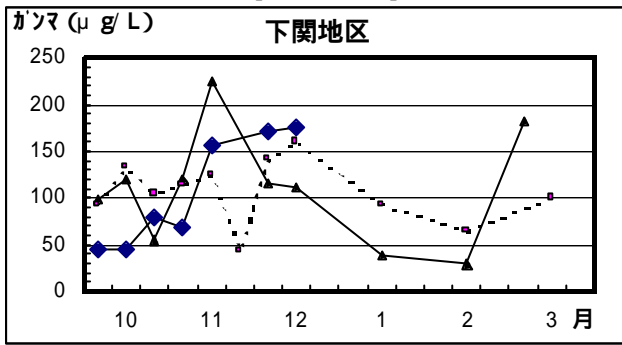
4 共販状況(12月8日第1回共販結果)

地区名		下関	小野田	宇部	防府	合計
共販枚数 (万枚)	H18	11	0	476	26	513
	H17	20	65	992	32	1,109
共販金額 (万円)	H18	132	0	6,024	294	6,450
	H17	216	596	11,537	306	12,655
平均単価 (円)	H18	11.8	0	12.7	11.4	12.6
	H17	10.8	9.2	11.6	9.6	11.4

栄養塩調査結果 (12月 20日)

(DIN)

(PO₄-P)



(— 18年度、 ● 17年度、 ... 平年、小野田地区分析 :山陽小野田市環境調査センター